

おススメ絵本・2025

=ちゅうりっぷ組=

Sassy のあかちゃんえほん
「にこにこ」

KADOKAWA

言葉がリズムカル、カラフルで鮮やかな絵本です。本棚に置いてあると子どもたちが自分で引っ張りだして見えています。この他にも「がー！」「ちゃぷちゃぷ」「ぱくぱく」などのシリーズもあり、どれも人気の絵本です。

保育者が読むと真剣に見ている子もいます。



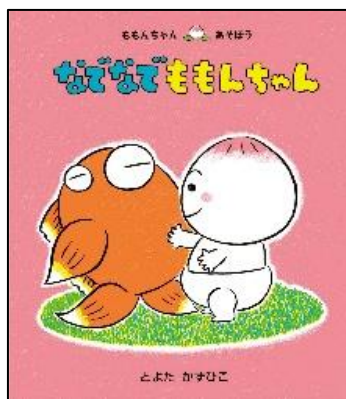
=たんぽぽ組=

「なでなでもんちゃん」

作：とよたかずひこ
童心社

きんぎょさんとおばけさんはお腹が痛くて元気ありません。お腹を『なでなで』してあげると治ります。お腹が痛いサボテンさんは『フーフー』と息を吹きかけてあげると治ります。

かわいい絵と優しい文章で、子ども達と一緒に『なでなで』『フーフー』としている姿は、とても可愛くて温かい気持ちになる一冊です。



=すみれ組=

「できるかな？あたまからつまさきまで」

作：エリックカール
偕成社

CDに合わせて、体を動かせる内容になっていて、子どもたちが絵本を手になんて「音楽かけて」と繰り返してやります。

メジャーなゾウや猫の動物だけでなく、バファローやらくだ、ロバ等も出てきます。色彩もきれいで目と耳で楽しめる一冊となっています。



=ひつじグループ=

「おばけのやだもん
まほうつかいのカレーライス」

作：ひらのゆきこ
教育画劇

ひつじグループが好きな絵本の1冊です。おばけのやだもんは「やだ、やだ」という子が大好きで「やだ、やだ」という子をおばけにしてしまいます。

一見怖そうな絵本の様ですが、可愛いイラストとちょっとぬけているやだもんに笑ってしまう楽しいお話です。



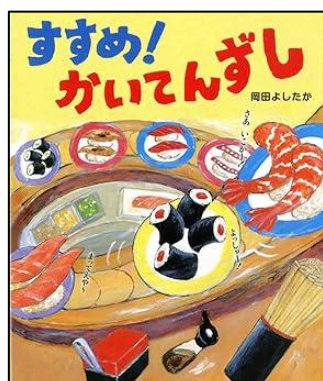
=らくだグループ=

「すすめ！かいてんずし」

作：岡田よしとか
ひかりのくに

子どもたちの好きな回転寿司のお話し。お寿司たちがレーンに乗っていろいろな所へ出発！

変わりダネのお寿司が出て来たり、寿司ネタが海に帰ったり…。お寿司たちの会話もおもしろいです。出てくるお寿司を見て「このお寿司食べたことある。」「これ好き」「何これ！」と楽しんで何度も見えています。



=ひまわり組=

「図鑑」シリーズ

小学館

「これ何？」「なんで？」の多いひまわりぐみ。虫や動物だけでなく、恐竜・人間・天体まで様々な現象への興味関心を持っています。

自分で調べることでさらに探求心が育ちます。一緒に調べると大人も新しい発見があり、面白さを感じることが出来ます。

ぜひ、子どもたちの「なぜ？」と一緒に楽しんで下さい。

